

あ ま か け
天 翔 る 竜

3年 第18号

～浜松市立清竜中学校第3学年学年通信～

発行：令和 5年 3月 7日

公立高校入学試験終わる！

3月2日・3日公立高校の入学試験が終わりました。昨日（6日）登校した生徒たちの、ほっとした様子が印象的でした。卒業式まで気を緩めることなく、落ち着いた学校生活を送らせたいと思います。

2月22日（水）の学級活動の時間では、学習室で市川先生が、進路室では伏見先生が、被服室では集団討論が面接試験の生徒たちが、第三理科室では菅沼先生が、クラス関係なく面接練習をしていました。また、すでに受検が終わった生徒も、教室で静かに自習をしていました。まさに、「受検は団体戦」を見るような思いがしました。

さて、進路学習を、「受検校の決定、そして合格に向けて」というだけでなく、「受検」という機会を通して、生徒たちの成長を願って取り組んでまいりました。そして保護者の皆様にも、「身に付けたい力」を修学旅行後にお知らせしました。受検が終わった今、お子さんと一緒に自己評価してみてください。

「進路学習を通して身に付けたい力」

A・B・Cの3段階で評価 ↓

- 自分の受検先を将来の夢と関連づけて選ぶ自己決定力
- やりたいことを我慢して机に向かう忍耐力
- 面接試験や面接練習を通して培う自己表現力や社会で役立つ言葉遣い
- 社会の出来事やニュースに関心を持ち、それに対する意見を持つ社会性
- 陰・日向になって支援してくれる家族や関わりのあった人たちへの感謝の心...

「神沢おくない」12日（日）壬生ホールで披露

3月3日付け「静岡新聞」によると、

浜松市天竜区の伝統芸能「神沢おくない」の保存継承に取り組む神沢おくない市民応援隊が、12日に同区二俣町の天竜壬生ホールで開かれる「天竜地区芸能連盟大会」の舞台に立つ。隊員は「伝統を途絶えさせたくない」と練習に汗を流している。とありました。

神沢おくないは、300年以上にわたり伝承されてきたとされる民俗芸能です。清竜中学校区である「熊地区」で行われていました。コロナ前は、清竜中学校の生徒たちが練習し、保護者や地域の人たちにお披露目されていました。今回生徒たちは舞台に立ちませんが、学区の伝統行事を間近で御覧いただければと思います。

